時事新報

東京　明治十七年五月十六日　金曜日　第六百六十號　日曜日休刊　定價金三錢

…十一番地　時事新報社

公報

○太政官達第四十四號　官省院廳府縣

陸軍武官官等表中下士ノ部左ノ通改正候條此旨相達候事

但會計軍醫馬醫軍樂各部下士ハ從前ノ通

明治十七年五月十四日　太政大臣三條實美

下士

憲兵曹長 一等 二等	憲兵一等軍曹 一等 二等	憲兵二等軍曹 一等 二等
歩兵曹長 一等 二等	歩兵一等軍曹 一等 二等	歩兵二等軍曹 一等 二等
騎兵曹長 一等 二等	騎兵一等軍曹 一等 二等	騎兵二等軍曹 一等 二等
	騎兵蹄鐵工長	騎兵蹄鐵工下長
砲兵曹長 一等 二等	砲兵一等軍曹 一等 二等	砲兵二等軍曹 一等 二等
砲兵監護 一等 二等		
砲兵火工長	砲兵火工下長	
	砲兵鞍工長	砲兵鞍工下長
	砲兵銃工長	砲兵銃工下長
	砲兵木工長	砲兵木工下長
	砲兵鍛工長	砲兵鍛工下長
	砲兵鑄工長	砲兵鑄工下長
工兵曹長 一等 二等	工兵一等軍曹 一等 二等	工兵二等軍曹 一等 二等
工兵監護 一等 二等		
輜重兵曹長 一等 二等	輜重兵一等軍曹 一等 二等	輜重兵二等軍曹 一等 二等

○警視廳布達甲第拾貳號

明治十二年(十月)甲第三拾貳號布達湯屋取締規則第十二條左ノ通改正ス

第十二條　木拾人ヲ出ス可ラス

右布達候事

明治十七年五月十五日　警視總監大迫貞清

○東京府布達甲第貳拾貳號

臨時府會及區部會郡部會本月十三日閉會ス(伊豆七島小笠原島ヲ除ク)

右布達候事

明治十七年五月十五日　東京府知事芳川顯正

叙任

○明治十七年五月十四日

任參事院議官　參事院副議長正四位勳二等　田中不二麿

兼任特命全權公使　參事院議官正四位勳二等　田中不二麿

任特命全權公使　文部少輔兼元老院議官從四位勳二等　九鬼隆一

任四等警視兼一等警察使　檢事正七位勳五等　岩重巖

警補内匠寮七等出仕　宮内權少書記官正七位　麻見義修

時事新報

佛蘭西支那兩國間ノ和約成ル

去ル十二日清國天津發ノ電報ニ東京(トンキン)ノ葛籐落着シ條約調印濟ミタリ償金要求ノ事ナシトアリ又同日英國倫敦發ノ電報ニ清佛兩國間ニ和好ノ條約成リ佛國ハ東京及ヒ安南ノ管理權ヲ握リ清國ハ雲南、廣西、廣東ノ三省ヲ貿易ノタメニ開キ償金ノ要求ハナシトアリ又天津ヨリノ後報ニカピテン、フールニエー佛國政府ノ訓令ヲ奉シ李鴻章ニ天津ニ會シ五月十一日ヲ以テ和好ノ條約ヲ議決調印シタリ其條項ハ

第一　佛蘭西政府ハ雲南、廣西、廣東ノ諸省ト通商ノ關係ヲ制定スル全權ヲ有スルヿ

第二　支那政府ハ東京及ヒ安南全部ノ管理權ヲ佛蘭西ニ讓リ渡シ東京安南ノ邦城内ニ於テ斷然總テ其責任ヲ棄去ルベキヿ

第三　佛蘭西ハ支那ヨリ何タル償金ノ仕拂ヲモ要求セザルヿ

第四　支那兵ハ直チニ東京ヲ引拂フベキヿ

以上ノ和約三日間ノ談判ニテ完結シタリトアリ此等ノ諸電報ヲ參觀スルニ去年以來世人ノ視聽ヲ聳動シタル東京擾亂ニ關スル清佛ノ葛籐モ一應ソノ局ヲ結ビタルニ相違ナキガ如シ

和約第一條ノ支那ガ佛蘭西ニ對シ雲南、廣西、廣東三省ヲ貿易ノタメニ打開クトノ事ハ如何ナル方法ヲ以テスルモノカ未ダ詳カナラズト雖ドモ從來ノ如ク旅行劵ヲ乞ヒ受ケテ僅カニ内地ノ都會ニ到ルヲ得ルノ不便ヲ改メテ更ニ寛大便利ノ方法ヲ設クベキヤ論ヲ俟タズ仮令三省全体殘ル處ナク打開キテ自由貿易ノ用ニ供スルヿナシトスルモ三省内重要ノ都會幾箇處ヲ限リテ貿易市塲并ニ佛國人居留ノ地ト爲シ此等ノ諸市塲間ヲ往來スルノ道路河川ハ安全平通ノ公道ト爲シ十分ニ兩國間ノ貿易ヲ進歩セシムル位ノ方法ハ必ズ設ケザルヲ得ザルモノト信スルナリ果シテ然ルトキハ佛領東京ノ紅河ヲ溯リテ雲南ニ入リ北寧、郎松路ヲ北ニ進テ廣西ニ入リ三角洲ノ沿岸ヲ航シテ廣東ニ往來スルハ勿論或ハ廣東府畔ノ珠江ヲ溯リテ廣西ニ入リ或ハ支那第一ノ運路タル楊子江ヲ遠ク溯リテ揚子ノ方ヨリ雲南ニ入ル等總テ差支ナキヿナランモ而シテ支那現行ノ各國條約ニ依ルニ一國ニ讓與スル所ノ權理恩惠ハ必ズ他ノ國々ニモ讓與スベシトノ無限優待ノ約東アルガ故ニ今回佛國人ノ南清三省ノ通商權ヲ確定シタル和約ハ取リモ直サズ英國、日耳曼、魯西亞、米國等諸外國人ノ通商權ヲモ確定シタルノ和約ナルベシ佛人往キ英人往キ米人往ク南清三省外國貿易ノ繁盛ハ今ヨリ日ヲ期シテ待ツベキナリ

和約第二條支那ハ東京并ニ安南全部ノ管理權ヲ佛蘭西ニ讓與シ其地内ニ於テ一切ノ責任ヲ免カレタリ此一事ハ今回清佛葛籐ノ骨髓ニシテ一年有餘ノ兵馬騷擾モ唯此地方ヲ清佛孰レニ取去ランカノ爭ナリシノミ然ルニ今日ニ至リ已ムヲ得ザルノ勢ニ迫ラレ尺土寸壤ヲ餘スノ計ニモ及バズ爭地ノ全部ヲ擧ケテ之ヲ敵人ノ手ニ委シタルハ支那政府ノ遺恨想見ルベシコレヲ想ヘバ我當局外ノ人ニ至ルマデモ爲メニ其恨ニ泣カントスルナリ今更悔ヒテ返ラヌ事ナガラ去年ノ今日頃ニ當リ支那政府ニシテ佛國ノ要求スル僅ヲ容レ、紅河ヲ以テ清佛兩國ノ境界ト定メ三角洲ノ全部ヲモ併セテコレヲ讓與スルノ決心アリタランニハ其榮譽ト實益ヲ損スルヿ今日ノ如ク甚シカラズシテ止ミタランモノヲ腹中一物ナク終始唯虚喝一法ヲ以テ重大ノ外交事務ヲ處シ遂ニ今日ノ耻辱ト損失トヲ取リタルヿ自業自得ト云フベキノミ然レドモ我輩退イテコレヲ思フニ支那政府ガ今回ノ失策ハ頗ル其愚ヲ極メタルガ如キ形跡アリト雖ドモ亦大ニ恕スベキ所ナキニアラズ蓋シ今日ノ愚ハコレヲ前日ニ誘フモノアリタレバナリ何ヲカコレヲ前日ニ誘フト云フ曰ク一昨年ノ朝鮮事變是ナリ讀者諸君ノ記憶セラルヽ如ク朝鮮ハ支那ノ自カラ稱シテ中國ノ屬邦ト爲スモノニシテ其關係安南東京ニ異ナラズ一昨年ノ夏京城ノ日本公使館襲撃ノ變ニ際シ屬邦ノ不埒ハ宗國自カラ其懲罰ノ任ニ當ルベシトノ意ニテ突然軍艦陸兵ヲ派遣シ京城内ニ屯營シテ四門ヲ警固シ詐ヲ謀王大院君ヲ拘致シ去ルナド其擧動ノ勇々シクシテ活潑ナル決シテ前日ノ支那政府ニアラズ爲メニ世界ノ耳目ヲ驚カシテ大ニ其名譽ヲ回復シタルノ跡アリシハ甚タ著明ノ事實ナリキ故ニ安南論ノ起ルニ際シテモ支那政府亦必ズ竊カニ心ニ思ヒシナラン朝鮮ノ先例其好結果既ニ斯ノ如シ彼ノ佛國人胡爲者ゾ亦與ミシ易キノミト依テ又例ノ虚喝ヲ以テ八方ニ當リ殷雷ノ音遠ク山嶽ニ響キ掣電ノ光近ク雲間ニ迸リ一日ハ一日ヨリ強ク一刻ハ一刻ヨリ近ク東西諸國人心恂々只管佛國人ノ爲メニ其不幸ヲ歎セシメタリ然ルニ何ゾ圖ラン佛國人ノ剛愎ナル電光目ヲ遮ルニ足ラズ雷聲耳ヲ驚カスニ足ラズ悠然安南全土ヲ席卷シテ他ヲ顧ミズ行々且ツ支那本地ニマデモ侵入セントスル爰ニ至リテ支那政府モ始メテ其策ノ非ナルヲ悟ルト雖ドモ嗚呼又既ニ晩シ覆水再ヒ盆ニ還ラザルナリ而シテ誰カ此盆水ヲ覆サシメタル者ゾ一昨年ノ朝鮮事變實ニ此愚ヲ啓キタリト云ハザルヲ得ズ

和約第三條佛國ハ支那ヨリ何等ノ償金ヲモ要求セザルベシト云フハ至極當然ノ事ナルベシ元來佛國ノ欲スル所ハ金ヲ得ントスルニアラズ又海南、台湾等ノ島地ヲ得ントスルニモアラズ唯東京江河沿岸ノ地ヲ占領シ流ヲ溯リテ雲南ニ入リ中ニ埋沒スル所ノ遺利ヲ拾ハントスルニ在ルノミ然ルニ今東京安南ノ全土ヲ領シ雲南、廣西、廣東マデモ貿易往來ノ自由ヲ得タル以上ハ此上償金ヲ要求シテ無用ノ議論ニ日月ヲ消費スルヿヲ好マズ依テ斷然償金ヲ要セズト揚言シテ敵人ヲ安堵セシメタルモ外交策略中ノ一妙法ナリト云フベキナリ

和約第四條支那兵ハ直チニ東京ヲ引拂フベシトアリ其土地ヲ讓與シタルカラニハ其地ヲ立去ルコト固ヨリ當然ノ順序ニシテ別ニ解釋ヲ要セズ恐嚇事成ラズ三軍旗ヲ卷テ北ニ還ル實ニ不外聞ノ至リト云フベシ

以上記載スル如ク本月十一日天津ノ條約ニ由テ清佛ノ和睦成就シタリ兩國ノ爲メ慶賀コレニ過ギザルナリ然レドモ我輩ハ此條約ヲ見テ支那南境ノ憂ヲ根治シタリト評スルヿヲ得ズ何トナレバ東京紅河ノ上流ニハ彼ノ黑旗党ノ蟠踞スルアリ此慓悍ナル野武士ハ十分ニ支那政府ノ命令ヲ遵奉スル者ニアラザルガ故ニ今日以後佛國人ノ雲南、廣西ニ往來スル者ヲ其途ニ要シ毫厘ノ損害ヲ加フルヿモアランニハ東京鎭台ノ佛軍ハ直チニ其賊巣ヲ衝キコレヲ懲罰スルナランモ賊兵ノ打洩ラサレタルモノハ竄レテ雲南、廣西ノ地ニ入ルナラン賊兵ノ在ル處即チ佛軍ノ往ク處ニシテ境ヲ踰ヘテ他人ノ土地ヲ蹂躙スルモ已ムヲ得ザル事ナリトシテ顧ミザルナラン是則チ我輩ガ清佛第二葛籐ノ報ヲ聞クノ時期ナリト知ルベキナリ支那政府モ亦多事ナルカナ

本文一篇ヲ起草シ了リタル跡ニテ本月十三日佛國巴里發ノ電報(雜報ニアリ)ヲ落手シ清佛和約ニ關シテ一層詳細ノ報道ヲ得タリト雖ドモ本篇ノ趣意ニ影響スル程ノ新事項ナキガ故ニ別ニ此草稿ヲ改ムルヿナシ讀者諸君幸ニコレヲ諒セヨ

雜報

○公使任勳　今度新任の田中特命全權公使、九鬼特命全權公使は一昨日孰も左の通仰付られたり

伊國羅馬府在勤被仰付候事　特命全權公使田中不二麿

米國華盛頓府在勤被仰付候事　特命全權公使九鬼隆一

○饗筵　本日午後六前三十分より山縣内務卿が催主にて目下上京中なる各府縣の警部長を内山下町の鹿鳴館へ招待して饗筵を張り大臣參議等にも臨館の筈なりと

○官廳彙報　陸軍省總務局次長兼同局軍法課長歩兵中佐高岡信徳氏は御用に付一昨日大坂鎭臺へ向け出發したり○四等警視岩重巖氏は一昨日上等月俸下賜さる旨仰渡されたり○義て栃木縣に於て開設せる第一區府縣聯合衛生會へ臨場せし内務省准奏任御用掛土橋多四郎氏は去る十二日歸京せり○文部省准奏任御用掛山岡次郎氏は手島東京教育博物館長英國倫敦府へ出張不在中同館長代理を命せられたり○農商務省御用掛永井久一郎、手島精一の兩氏は一昨十四日同省に於て博覽會掛事務取扱申付られたり○元老院准判任御用掛島寬氏は一昨日准奏任御用掛但月俸從前の通り(五拾圓)仰付られたり

○課長　東京府一等屬會計課長荒木功氏は公債課長兼務を、同公債課長伊藤正信氏は土木課長を孰も去る十三日申付られたり

○清佛和約電報　清佛兩國和約成りたる事は既に前號の紙上にも掲げたりしが本月十三日佛國巴里發我東京の或る筋へ達したる電報なりとて聞き得たる所に據れば聊か前號所載の事より詳密を加へたるものあり即ち左に掲く

第一　清國政府ハ佛國政府ノ安南及ビ東京ノ保護權ヲ承認スルヿ

第二　東京ノ疆域ハ天然ノ分界ニ因リテ定ムルヿ

第三　清兵東京ヲ引拂フヿ

第四　雲南及ビ近省ヲ佛國貿易ノ爲メニ開クヿ

第五　佛清兩國間ノ通商條約ハ可成速ニ記名シ佛國ニ對シ最惠國條款ヲ承諾スルヿ

第六　佛國政府ハ東京出兵ニ係ル償金ヲ要求セザルヿ

又右の條款は歐洲諸國に於て大に滿足とる所なりと云

○佛清和約の日　前號に記載せし佛國のカピテン、フルニエー氏が天津李鴻章の邸宅にて四項の和約を締結せしは本月七日(日曜日)と記せしが本月十一日(日曜日)の誤りなれば茲に其誤を正す

○清佛和約前李氏の近状　左に錄する天津の李鴻章が近状は本月十一日佛國のフルニエー氏が李氏の邸にて和約締結以前に天津を發しる報道に係る者者宜しく其心して讀み給へ

四月二十五日李鴻章は北京政府より二條の訓令を得たり其一は劉永に台灣鎭守總督の任を授くる事、他の一條は佛國